

「情報処理学会論文誌：数理モデル化と応用」の 編集にあたって

北 栄輔^{1,a)}

2019年度最初の論文誌トランザクション「数理モデル化と応用 (TOM)」の発刊です。

TOMでは、MPS研究会においてご講演いただき、研究会と同時開催の編集委員会で査読結果をお伝えするという方法をとっています。今年度も5回のMPS研究会開催を予定しています。2019年6月開催のMPS123(沖縄科学技術大学院大学)、同年7月開催のMPS124(ラスベガス、国際会議PDPTAとの共催)、同年9月開催のMPS125、同年12月開催のMPS126、2020年3月頃開催のMPS127(温泉地)です。本トランザクションの発刊時点では、すでに、MPS123が終了していると思います。詳細はHPに掲載していますので、是非、多数のご参加をお待ちしています。

今号では、2018年3月開催のMPS117(指宿温泉)、2018年9月開催のMPS120(小樽商科大学)、2018年12月開催のMPS121(電気通信大学)、2019年3月開催のMPS122(湯布院温泉)に投稿されて採録と判定されたオリジナル論文9編を収録しています。担当編集委員は小谷野仁、佐藤彰洋、庄野 逸、堀田一弘、但馬康宏、大久保好章、城 和貴、棟朝雅晴、北 栄輔となっています。

TOMに掲載される論文はコンピュータサイエンスの境界領域を含む非常に広範囲なものになっています。そのため広い分野に対応できるように多くの編集委員を必要としています。これまでも慢性的に編集委員が不足している状態です。TOMでは編集委員を常時募集していますので、自薦・他薦を問わず興味のある方は是非ご一報ください。

本論文誌の配布はオンライン版のみとなっています。なお、論文誌の定期購読制度もありますので、ぜひ、こちらもご利用ください。また、研究会開催記録、研究会登録案内、投稿案内などに関する最新の情報はすべてWWWページ上に掲載しております。すべての情報は研究会ウェブページ(<http://www.ipsj.or.jp/sigmeps>)よりたどることができますので、MPS研究会および論文誌TOMに関しては、そちらをご参照くださいますよう、お願い申し上げます。

最後に、私事ですが、2018年度をもって編集長を退任さ

せていただきました。4年間、大変お世話になりました。ご投稿いただいた皆様、編集委員の皆様にご心よりお礼申し上げます。今後も、情報処理学会「数理モデル化と問題解決 (MPS)」研究会、ならびに、情報処理学会トランザクション「数理モデル化と応用 (TOM)」の活動にお力添えをいただきますように、お願い申し上げます。

¹ 前編集長
名古屋大学大学院情報学研究科
Nagoya University, Nagoya, Aichi 464-8601, Japan

^{a)} kita@i.nagoya-u.ac.jp